

## Chateau Mouton Rothschild 1975

シャトー・ムートン・ロストルド



所有者 Baronne Philippine de Rothschild

オペレーション ポイヤック

1855年格付け グラン・クリュ 1級

シャトー・ムートン・ロストルドは、ボルドーのジロンド川の左岸にあるメドック地区ポイヤック村に位置しています。温暖な気候で標高 30m という立地条件のため（標高が高くなればなるほど、気温が低くなってしまいます）カベルネ・ソーヴィニオンなどのような晩熟で長期熟成期間を必要とするブドウ品種には最適な場所といえます。ポイヤック村は、おおよそ東西 3km、南北 6km の小さな村です。ムートン・ロストルドの畑は、その北部の Le Pouyalet と呼ばれる台地にシャトー・ラフィット・ロストルドの畑と重なり合うように存在しています。

ムートン・ロストルドの歴史は長く、代々続く家族経営で、ドイツのフランクフルトのユダヤ人街で商売を営んでいた Amschel Rothschild は、5 人の息子を持っていました。

1789 年、彼はそのうち 4 人の息子を当時の主なヨーロッパの 4 つの都市に送り、(Salmon: ヴィエナ、Nathan: ロンドン、Carl: ナポリ、James: パリ) 強い家族の結びつきによって次第にヨーロッパにおいてかなりの力を発揮していきました。1853 年、イギリスで活躍していた Baron Nathan は、パリに移り住むことを決意し、と同時にボルドーのポイヤック村の Chateau Brane Mouton を買収しました。そしてその彼のの名前をとって現在の Chateau Mouton Rothschild という名が名付けられました。

彼は 1870 年に亡くなり、その経営は彼の息子の Baron James と孫の Baron Henri によって引き継がれ、また 1922 年には、Baron Henri の息子、Philippe de Rothschild (1902-1988) へと引き継がれました。現経営者である娘、Baroness Philippine de Rothschild (バロンヌ・フィリピンヌ) の父親です。彼はボルドーワインの普及に大いなる貢献を果たした偉大な人物でもあります。

1855 年の格付けの際には 2 級としての評価を得ましたが、1973 年の改定で唯一、一級に昇格したシャトーです。

ムートン・ロストルドのラベルは、1928 年からフィリップ・ド・ロストルド男爵の依頼により、著名な画家によって描かれており、またそれが毎年描かれるようになったのは 1945 年以降。例えば、1970 年: シャガール、1973 年: ピカソなど...

1975 Chateau Mouton Rothschild は、既に飲み頃を迎えており、茶系を帯びたガーネット色に熟成のアロマから飲み頃を推測できます。カシスやタール、杉などのニュアンスにスモーキーでブラックチョコレートなどの複雑な余韻が口の中に広がります。また 30 年以上の熟成を経てもまだまだ感じる、甘みある果実味。そして深くおおきなポリウム感。

これが 1 級ワインといわれる所以。熟成を経て進化を遂げたボルドーワインを代表できる味わいをお楽しみ下さいませ。

1975 のラベルはアメリカの画家、アンディ・ウォーホル氏 (Andy Warhol) がデザインしています。

### 参考情報

土壌 主に砂利質  
栽培面積 83.8ha  
栽培比率 77% カベルネ・ソーヴィニオン, 12% メルロー, 9% カベルネ・フラン,  
2% プティ・ヴェルド  
平均樹齢 48 年  
栽培密度 8,500 本/ha  
収穫 手摘み 選別  
醱酵・マセラシオン 15-25 日 木製の樽にて  
樽熟成 19-22 ヶ月 (新樽 ほぼ 100%、ただしヴィンテージによる)  
収量 40-50hl/ha  
年間生産量 平均: 300,000 本

s.a.r.l. Trente-Trois

39, rue Huguerie, 33000 Bordeaux, FRANCE Email: 33@trente-trois.fr Website: www.trente-trois.fr